



越谷市議会議員 福田 あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』 No.9 2013年夏号

〒343-0046 越谷市弥栄町4-1-120
TEL/FAX 048-978-3335
Mali info@akira-fukuda.com HP http://akira-fukuda.com



※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、最小限の費用にて作成しています。(IT企業出身である強みを活かしています)

GET GOAL
FUJUDA !!

子や孫のクレジットカードを使う親

6月議会・議案から①

地域の元気臨時交付金を活用した 補正予算成立

6月定例議会では「地域の元気臨時交付金」を利用した補正予算(5事業)が可決されました。可決された5事業は「学童保育室建設工事費」など合計2億6,300万円です。(下記図参照)尚「地域の元気臨時交付金」を簡潔に説明すると、地域経済の活性化と雇用の創出を図るために利用できる国からの大規模な交付金です。(国全体での補正予算計上額は1兆3,980億円) 【単位:千円】

事業	国からの交付金	越谷市の負担	総額
学童保育室建設工事費	62,900	6,100	69,000
歩道整備事業	18,000	2,000	20,000
排水施設維持管理費	44,000	6,000	50,000
常備消防車両等整備事業	62,000	9,000	71,000
備品整備事業	47,000	6,000	53,000
合計	233,900	29,100	263,000

ここで、交付金について問題提起をします。

国から多額の交付金が払われるということは、実質は国の借金が増額しているということです。ちなみこの度の1兆3,980億円という交付金の額は日本国民約1億2,000万人で割ると、約11,700円/人の借金の増額に値します。尚、すでに国の抱えている約1,000兆円という借金は、私たちの世代で返せるものではありません。つまりは次世代に生まれてくる方たちの負担を更に強いているということです。その状況にも関わらず、借金をつづける国の財政運営状況は、まさに親(現世代)が子や孫(次世代)のクレジットカードを使っている状況だと言えるでしょう! また自治体は自分の財布を痛めるわけでないで、借金をしているという現実味が全くわきません。その結果、どこの自治体も

「国が補助してくれるのに、使わなきゃ損だ」という認識になってしまいます。(この度の事業も越谷市の負担はたった2,910万円です)これは地方自治体側の意識が低いということではなく、現在の制度上はどうしてもそうならざるをえません。やはり、この根本を変えるのは、地方分権の強化ではないでしょうか? 地域のことは地域に任せ、税金をもっとも効率的に使うことが重要であるはず。しかし現政権にかわり一括交付金も廃止の方向となり、中央集権型に戻っているような気がします。それが本当にいいことなのか、改めて考えていく必要があると思います。

※国がもし財政破綻になったらどうなるのか? 元衆議院議員 村井宗明氏の著書『総理、増税よりも競り下げを!』の文中に、五十嵐文彦元衆議院議員が国会で発表したネバタ・リポートというものがあつたので紹介します。本レポートは、日本がIMF(国際通貨基金)管理下になった場合には次のような要求があると推測しています。

- ①公務員の総数・給与は30%以上カット、およびボーナスは例外なくすべてカット
- ②公務員の退職金は一切認めない 100%カット
- ③年金は一律30%カット
- ④国債の利払いりは5年~10年間停止
- ⑤消費税率の20%引き上げ。課税最低限を引き下げ、年収100万円以上から徴税を行う
- ⑥資産税を投入し、不動産に関しては、公示価格の5%を課税。債権、社債については5~15%の課税
- ⑦第一段階として、預金の一律ペイオフを実施する
- ⑧第二段階として、預金の30%~40%を財産税として没収

本当にこのような状況になるかは不明ですが、ある程度は近い要求になるかもしれません。

『福田あきら』ただいま情報発信中

ほぼ毎日
更新中!

②ブログ(日記)

<http://blog.akira-fukuda.com>

→越谷市議会議員としての日々の活動を日記形式にて公開中



①ホームページ <http://akira-fukuda.com>



③facebook(フェイスブック)コミュニティ

<http://www.facebook.com/> 左記より福田あきらを検索! 友達の申請をお願いします。より身近な活動を情報発信しています。



福田 あきら(38歳) プロフィール

【所属党派】 民主党・市民ネットワーク 【常任委員会】 民生常任委員会
【その他役割】 土地開発公社理事、本庁舎整備審議会委員

- 1975年 越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)
- 1982年 清浄院幼稚園卒園
- 1988年 越谷市立桜井南小学校卒業
- 1991年 越谷市立越谷北中学校卒業
- 1994年 埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業
- 1998年 法政大学法学部法律学科卒業
- 2000年 現:伊藤忠テクノソリューションズ(株) 入社
→IT企業のサラリーマンとして10年勤務
- 2011年 越谷市議会選挙に挑戦し当選
- 資格 基本情報技術者/宅地建物取引主任者等
- 家族 妻と長男、次男、チワワ2匹
- サッカー選手としての経歴
・越谷フットボールクラブ(小学校1年~6年/社会人)
・水戸ホーリーホック【現リーグ2部】
・全国社会人サッカー選手権大会優勝
福島/広島国民体育大会(国体)サッカー優勝
など三度の日本人を経験
・現在、越谷市サッカー協会副会長を拝命

★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00~18:00 大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方へのみの対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させていただきます。



保健所建築に関する議案が可決

仮称越谷市保健所建設に関する工事請負契約の締結議案(総額約12億2,000万円)が可決されました。これは、越谷市が進める平成27年度の中核市への移行に向けた事業の一つです。保健所建設予定地は、旧看護専門学校跡地で越谷市立病院の道路を挟んだ東側(東越谷10-81)となります。敷地面積は1万763㎡。越谷市が中核市に移行することにより、国・県から2千ほどの事務移譲がありますが、その内の7割が保健所に関するものです。これまで国・県が行ってきた事務が市に移るので市の権限は拡大されますが、その分の経費も増えます。越谷市の試算では、保健所関係の事務移譲や人件費の増などによって12億4,000万円程度の経費増額となると考えられます。これに対して、歳入面では、中核市移行による事務移譲に対する



中核市移行までに建設される第3庁舎の完成予想図

国からの財源措置や新たな手数料収入などによって約12億8,000万円が見込まれます。事務移譲に伴う経費負担増については、地方交付税の算定の際に措置されるために越谷市が独自に持ち出す原則ありません。ただし、保健所建設関連費用や事務スペース狭小化対策の第3庁舎建設費に対する国からの補助などはなく、これらは越谷市の独自負担となります。

中核市移行による越谷市の財政への影響は？(越谷市試算に基づく)

①単年度での収支【歳入】

地方交付税の加算 16億円
 県支出金の減額 -5億5,000万円
 国庫支出金の増額 1億5,000万円
 新たな手数料等 8,000万円
合計 12億8,000万円

【歳出】

事務移譲による経費増 2億4,000万円
 職員人件費の増 7億円
 県単独事業の事務移譲 3億円
合計 12億4,000万円
 ※その他300万円以下の事業については調査中

②保健所建設事業関係

保健所建設 **12億8,852万円**
 ※基本計画、地質調査、建築、諸設備費。夜間急患所部分も含む

③中核市移行と一部関わる事業

第3庁舎建設費 **17億円**

新会派『民主党・市民ネットワーク』を結成

5月、議会運営等に対する方針の違いから「民主党・ネット・無所属の会」を解散し、新たに玉生、大石、辻、福田の4議員による新会派「民主党・市民ネットワーク」を結成しました。新会派は、民主党所属議員3名と越谷市民ネットワーク所属議員1名によって構成されています。個性豊かな各議員の持ち味を活かし、高橋市政に対しては、議会の立場から積極的に政策提案をしていきたいと考えております。すでに下記写真にあるような具体的な活動を開始しています。議会報告会『市民と議員の対話の広場』は各定例議会終了後に実施する予定なので、みなさんぜひご参加ください。



新会派で駅頭を開始



8月8日新会派で市政報告会を実施
越谷市議会のなかでは初めての試みだと思われま



(水俣市で話を聞いているところです)

水俣市で話を聞いているところです。水俣病により公害のまちというイメージが強い水俣市ですが、2008年に環境モデル都市に認定(全国13都市)、そして**2011年に日本の『環境首都』に認定**されました。過去のイメージを逆手にとった日本一の環境まちづくりを学びました。



(議員有志3名で調査に行きました)

7月29日 熊本県水俣市 環境モデル都市づくりについて

水俣病により公害のまちというイメージが強い水俣市ですが、2008年に環境モデル都市に認定(全国13都市)、そして**2011年に日本の『環境首都』に認定**されました。過去のイメージを逆手にとった日本一の環境まちづくりを学びました。

7月31日 福岡県大木町 循環型社会のまちづくりについて

ごみゼロのまちをめざして『**大木町もったいない宣言**』を発表し、徹底したごみのリサイクルを実施している自治体です。ごみの分別は**25種類**、紙おむつのリサイクルなど、他の自治体を実施していない取り組みも行っています。特に注目なのは、家庭から出る「生ごみ、し尿、浄化槽汚泥」を「エネルギーや液肥」に変えて、それを循環させていることです。捨ればゴミだが、使えば資源、担当者が力強く話したその言葉に「越谷市でも、もっとやるべきことがあるのでは?」と考えさせられました。



(おおき循環センターです)

医療・保健・福祉連携を考える

8月8日 埼玉県幸手市 保健・福祉連携について

保健や福祉の制度が多様化そして複雑化されています。その結果、市民の皆さんが手続きの手間により、サービスをうけることをあきらめてしまったり、行政の連携不足により、ミスがおこったりすることが懸念されています。この状況を部署の連携や情報共有により、上手に対応している幸手市の状況を調査してきました。

福田あきらの政策工程表

越谷市議会議員 福田あきら 政策実施のに向けた工程表(2013年8月15日時点)

政策	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	ゴール	進捗
【政策1】地域に根ざしたまちづくり						
①地元産業	子要 議9、質12 子要	子9	子9	子9	都市型農業の進展	地域ブランド等の推進
②防災(災害対策)	議6	子要 議2	質6	審	都市型農業への若手参入モデルの促進	平成24年度予算要望実施
③地域医療	子要	子要	子要	子要	調査(一般質問等)とその改善の実施	新本庁舎建設における提言 本庁舎審議決意にて提言
④自然環境	調3	子9	子9	子9	3年間のスポーツ促進(特に「カブコム」)	今後
⑤イベント	議9、質12 子要 待3	子要	決9	子要	治水対策の改善	グリラ豪雨対策など一般質問
【政策2】『無駄の排除』と『選択と集中』						
財務状況から傾向や問題チェックと改善	決9、子9	質6	決6	子9	継続したチェック改善	超高齢化社会・少子化社会における財政規律の提案(質)
【政策3】教育環境、子育て環境の整備						
子育て環境の整備(待機児童問題)	調12	子要	子9	子9	待機児童一掃	他市の状況調査実施済み
学校図書館の拡充	調6	終	終	終	その他問題の指摘改善 越谷市独自の予算確保により一定の目的達成	達成
【政策4】二年記の方へのIT活用の推進						
Cityメールの推進/パソコン携帯電話教室の開催	調6	調6	調6	調6	Cityメール普及活動	Cityメール普及活動中
【政策5】徹底した情報発信						
行政/議会/国政、いろいろな情報をブログにて発信	調6	調6	調6	調6	年間250件発信	ほぼ毎日発信中
【その他】市民の皆様からのご意見募集						
その都度一帯に活動/常にチャレンジ	調6	調6	調6	調6	すべての案件において 改善に対応	ご相談を頂いた件対応中
【報告】議会レポート報告						
議会レポート	調6	調6	調6	調6	議会ごとレポート作成(7月、10月、1月、4月)	16回/4年
議会報告会	調6	調6	調6	調6	個人と有志議員との合同形式	8回/4年

尚、政策の詳細および工程表の詳細は

HP <http://akira-fukuda.com>に記載しております。

記号説明 → 事前調査/準備作業/審議 → 実行